

令和4年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【2年目】

P T A名	静岡県立沼津聴覚特別支援学校 P T A	
学 校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
	全校児童・生徒数	27人

1. 使用状況

寄贈物品名	ボッチャ
使用学年及び人数	小学部・中学部・高等部 19人
使用頻度	年に数回
使用状況	<p>パリパラリンピックを終え、教員が主導となる遊びの紹介の時間に、ボッチャを使用した。簡単なルールにして、白のジャックボールの説明をし赤と青チームに分かれてゲームを行った。</p> <p>3学期には、中・高等部の体育の授業で活用する計画が予定されている。</p>
物品の使用による 変化や効果 ※ 1年目との違いを 含めご記入ください。	<p>昨年度は、中高学部を中心に活動に取り組んだが、今年度は、小学部の休み時間の遊びの一つとして取り組み、活用場面が増えた。</p> <p>小学部では、数年前のパリンピックの時は、球を自作し、真似をして楽しんだ。寄贈品が届き、本物に触れることができたことで、その時よりも、子供たちもテレビで見たことのある道具を間近で見たり、触ったりすることができ、より楽しむことができた。</p>
今後の活用の見通しや課題	児童生徒が自分たちで企画するレクリエーション活動に取り入れたり、身近なスポーツとして積極的に取り組んだり、活用できる場面を広げていきたい。
その他 希望や所感など	実際に投げてみて、転がるイメージを持ったり、投げ方を工夫したりする様子が一人一人見られたのが良かった。寄贈していただきありがとうございました。

2. 活用の様子

